

こぶしだより

1996年 7月 30日

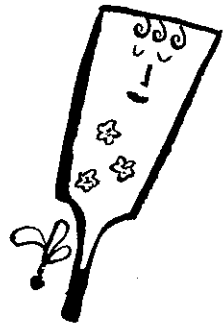
発行 第188号

こぶし作業所

宇都宮市柳田町1401

☎0286(62)1911

迎春



あけましておめでとつございませう。

昨年(1995年)の夏、二週間ほど、旧友四人でワゴン車を駆り、四国一周をしました。車にエンジンと炊事道具を積みすべてキャンプをして旅をする予定でしたが、何分気ままな連中なので、俺はあそこへ行きたいんだと強硬に主張する者が必ずいて、日が暮れるまで車を走らせる破目になり、キャンプをするのが面倒になって、民宿を探して泊り、結局、キャンプをして自炊したのは二回だけという有様でした。総費用は一人八万円足らず。結構な旅行でした。

特に印象に残ったのは、祖谷溪で、四国最高峰剣山に続く山奥。荒々しい連山が急峻に深い谷におち込み、その山腹を狭い道がまわって、はるか下方に白い河原と細い清流が見える。切り立つような絶壁の上に一軒の旅館が危なげに立っていました。

旅行案内の名所旧蹟などに足を運ばず、勝手気ままに気に入れば気のすむまで留まるといった具合で、治気のある漁港や美しい山奥の部落にも入り少々日本という国について再認識する旅行でした。

今年も、分場の拡充計画を進める大きな仕事が続いていきます。英気を養いながら微力をつくしたいと思っています。

所長 住谷 佳裕

冬はやぱり温泉巡

去る12月26日(火)、芳賀町温泉振興会さんからのご招待を受け、けやき作業所の仲間と職員全員で、伊賀温泉ロマンの湯へ行ってきました。

みんな胸をワクワクさせて冷たい風の中、温泉センターの中へ入ると、「いらっしゃいませ」と皆さんの従業員の皆さん

んに、あたたかく出迎えていただき、まだ新しい館内へ案内されました。お風呂は気泡風呂や露天風呂など幾つかの種類がありました。浴場内の通路には足をすべらせないよう、ゴムのシートがしかれており、仲間たちも安心して歩くことができました。女性職員は露天風呂に大満足し、若い仲間たちは気泡風呂がとっても気に入ったようです。また男風呂からは日光の山々がともよく見えたそうです。

温泉からあがるとお食事をしていただき、その後は広くてきれいな館内を走りまわる者あり、トレーニングルームでシェイプアップに励む者あり、電気マッサージで疲れをとる者ありと、それぞれ楽しんでいました。

一年の疲れをしっかりと洗い流すことができました。

温泉センターの皆さん、ごつもありがとうございます。

(塩)

2月カレンダー

- 3日(土) 休所日
- 4日(日) 休所日
- 10日(土) 休所日
- 11日(日) 休所日
- 12日(月)
- 17日(土) 職員会議
- 18日(日) こぶしまつり
- 19日(月) 振休
- 24日(土) 休所日
- 25日(日)

サンタクロース



登場!

こぶしクリスマス会……

12月23日の午後、自治会レク部主催の恒例クリスマス会がこぶし作業所食堂で行なわれました。残念ながらボラテアの参加は呼びかけが遅かった事もあり7人、すっかりお馴染みの佐藤さん(レオン自動車)がステキな蘭の花を持参して参加し、皆さんに比べるとさほどの細身

て下さいました。お菓子や飲み物もたくさん用意されまして、何しろ午前中に忘年会があり、お腹の中はすでにごちそうではちきれそう。みんなの楽しみは一気にサンタクロースの登場へと向けられました。今年のサンタはトナカイならぬ、作業用荷台に乗り、2人のお供を従えてさうそうと登場しました。真赤な服に、真白なひげ、イメージのサンタ



けやきクリスマス会……

けやき作業所の今年度のクリスマス会は、準備にかかるとの遅れおまけに、企画を担当したレクリエーション部の部長が、準備をホイコットするとうい事件もおき、少々盛り上がり欠けるものではありましたが、それでも楽しい一時を過ごしました。

中央医療福祉専門学校

(成田)

Merry Christmas

ロくん、生井さん、丸山さんもクジを、おみやげに参加してくれました。

はじまりはまず、予定を変更して準備をすぼかしたレクリエーション部部長の糾弾会から始まりました。一時、時間ほとんどありませんでした。しみりとしたスタートにはなりませんが、その後はクリスマスソングの大合唱、けやきは合器がないので直井くんの案を、クリスマスを借りて、それに合わせての大合唱、また、シンガーで乾杯、キーヤとくさんのおかげで仲間たちは大満足。きわめつけは大あみたく大会。みんなわくわく、自分の引いた線を見守っていました。

その後、ひきつづき、忘年会カラオケを中心に、お酒も飲んで大盛会でした。

祝 成人



席に着きました。鶴野君より「今から成人を祝う会を始めます。このあいさつがあり次に所長と自治会代表(大橋さん)がそれぞれお祝いの言葉を述べ、みんなの手ひらに太陽を歌い二人の成人を祝いました。お菓子を食べてから最後に前もって保護者の方よりいただいたお礼の言葉を紹介し、プレゼントを贈り祝う会が終了しました。」

(田島)

(けやき)

18日(木)、実習生の若柳敏之くんの成人のお祝いをやりました。一々々にお祝いの言葉をもらいました。車イスの若柳くんですが、けやきの先輩たちからは、厳しい言葉もかけられ、大人として頑張るよう期待されているようです。

自分でできることは自分でやる。がしばらくテーマになりそうなの20オでした。

(金田)

こぶし トピックス

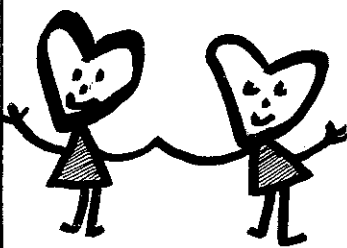
ある日の防災訓練の様子
作業中に突然非常ベルがなり「食堂より出火しました。すぐに近くの出入口(非常口)より逃げて下さい。繰り返します。と館内放送が入り職員は慌てた。みんな早く逃げる。叫んだり消火器避難時間 5分以上かかりま

けやき トピックス



直井くんの車イスが大変身!!

今年度はけやきの、食器消毒保管庫の寄附をはじめ、おまフリの招待ほか、チャリティ映画会のチケット販売協力など、本田技研労働組合栃木研究所支部の皆さまには、大変お世話になって、います。その本田労働組合が全国で展開している、ボランティア活動の一環として、車イスの改良を行っています。自動車用のシートを車イス



(田島)

したが、毎月の訓練の成果で最近では3分以内で全員が避難できるようになりました。この訓練の成果が活かされたいように、訓練のままでいてほしいと思います。

みんなで大地

にとりつけ、乗りこちが大変よくなっていきます。今回、直井くんに声がかかり、お願いすることになりました。半壊状態の車イスがみちがえるような、新車に大変身。グレードもアップしてあります。大満足の、直井くんでした。

(成田)

1996. 1月
阪神淡路大震災に日本がゆれて1年が経過した。震災直後、障害者は情報から隔離されていた。身動きさえできない状態だ。しかし、極端な言い方をすれば震災直後は多かれ少なかれ絶望的な状況に陥っていたのは健常者も同様であったと思

日にちが経つにしたがって震災以前と同じように障害者と健常者の格差が顕著になってきた。現在、仮設住宅に入居している人たちの過半数が老人を初めとする社会的弱者の単身者だそう。その仮設住宅もあと7年後には全員立ち退きを迫られる。その中には今回の震災の中で障害者になつた人も少なくはないのではなからうか。これらの人たちはこれから障害者となりゆく障害者でどんな制度にもならない無権利状態に置かれている。さらに、中途障害者というこ

とで、精神的に自分の障害を乗り越えていくことが計り知れない困難さを持つ。先日、県社協で人を行つ間、障害者とともにあゆむという同団体編の冊子をめぐっていたら、こぶし作業所の保

(鬼やんま)

第15回 地域交流事業 **こぶしまつり**

1996年2月18日(日)
AM10:00 ~ PM2:00

会場: 二つし作業所
〒28(6-1)911

送迎バス: 9:40 下野宮駅発
14:15 二つし作業所発

今年の特典: ミニSLが、更なるぞ!

光景は、お楽しみ! 福引きあり!

毎年恒例の自慢大会、コンテストは、出場者募集中。

種別: 絵画、作文、唱歌、ダンス、楽器演奏、お楽しみ!!

主催: 二つし作業所
後援: 上野宮地区自治会 / 下野宮地区自治会 / 新田地区老人会 / 二つし作業所保護者会 / 関口地区老人会 / 二つし作業所保護者会



こぶしまつり
ぜひ、いらして下さい!
おまちしてまーす。